

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 てらびあぼけっと神戸元町教室

保護者等数(児童数)25人(28人) 回収数 25 割合 89%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22件	3件			のびのび出来ている。 安全を確保出来るスペースはある。 卓上で行う際はよいが複数実施の際は少し狭いように思う。	構造上仕方ない部分が多いが、出来るだけ物を少なくしたり、棚等の配置を見直してみる。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	23件	2件			ABA療育セラピーの専門の職員ときいている。 問題ない。	見学や契約時に、職員の専門性等を詳しく説明していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24件	1件			子どもにとって分かりやすい環境になっている。 玄関が少し狭く感じる。	子どもが靴を履くときに座る用の椅子(軽くて持ち運べる簡易なもの)を用意し、必要な時だけ玄関に準備する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24件	1件			安心して預ける事が出来る環境が整っていると思う。	空気の循環をよくするために換気時に使用するサーキュレーターを用意する。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	25件				適切に作成されている。 毎回細かく子どもの様子を聞いて計画を立ててくれている。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24件			1件	苦手なことを細かく見極めてそれに沿った内容になっていて分かりやすい。 課題があるところを重点的に取り組めるように作成してもらっている。	具体的な内容は設定されているので、提示時に分かりやすく説明するように心掛ける。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	25件				支援計画を説明してもらってから、どのような支援をしたか、毎回説明してもらって大変満足している。	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23件	2件			毎回、子どもに合ったものを工夫して取り入れてくれる。 子どもが好きなものを教材に取り入れて、飽きることなく楽しく取り組むことが出来ている。	毎回個々にプログラムを作成し固定化はしていないが、中々次のステップに進まない子どもの保護者は同じような内容に感じるかもしれないので、なぜこのプログラムが必要なのかもFB時に合わせて説明していく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14件	2件	2件	7件	幼稚園にも通っているの必要性は感じていない。	事業所としての交流はないことを契約時に説明する。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23件	1件		1件	丁寧に説明してもらった。 詳細が書かれた明細があるとより分かりやすい。	契約時にサービス内容説明書をお渡しし、説明しているが、それが毎月の明細書と繋がっているとは気が付かないので、その辺りも詳しく説明してご理解頂けるように努める。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22件	1件		2件	具体的に説明してくれ、分かりやすい。	ガイドラインの内容を理解して頂くために、ガイドラインの一覧表を作成し、それと照らし合わせながら説明する。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	18件	2件	3件	2件	支援プログラムとしては無いと思うが、毎回のフィードバックが丁寧で勉強になる。	引き続き、行っている療育について、保護者に詳しく知ってもらい、希望者には自宅などでも応用出来るようにしていく(ホームエクササイズの周知、活用)
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	25件				他事業所での悩みに対しても相談に乗ってもらい、すぐに連絡を取って対応してもらえた。 園や自宅での困りごとの対策を教えてください、日常で対応出来て助かった。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23件	1件	1件		家庭での育児での悩み相談をいつもしており、丁寧に聞いてくれ、アドバイスをしてくれるので助かっている。	年長児の就学に合わせて今後の流れを話すと共に、放課後デイへの移行の話や情報交換出来る場を提供する
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11件	6件	4件	4件	保護者同士の繋がりが出来る機会があれば嬉しい。	今後、必要に応じて保護者会等を検討する
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22件	1件	1件	1件	園での困りごとを相談すると、担任に話を聞いてくれ、課題を共有して同じ支援(取り組み)をしてくれるので有難い。	いつでも相談を受け付けていることを口頭や会報でお知らせし、周知してもらう。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24件			1件	相談した際、プリントを貰ったり、次の利用時に気に掛けてくれ、話を聞いてもらえて嬉しかった。	伝達方法を再度確認。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25件				お便りやブログで活動内容や療育のねらいを知れて有難い。 実際に参観する機会を作って欲しい。	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	23件	2件			十分注意してくれていると思う。	今以上に意識を高める為に、入社時以降も研修を行う。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	21件	2件		2件	契約時に一通り聞いている。 玄関に提示してあるのは見ているが内容までは見ていない。	マニュアルを掲示している場所に、目立つように吹き出しを付けるなど工夫をする。 訓練日をお便りに掲載する。契約時に行うマニュアルの説明を、丁寧に実施するよう心がける。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21件	1件	1件	2件	職員の方が避難先の小学校に足を運ばれている様子はブログを見た。	おたよりやインスタで、訓練の様子等を掲載し、周知していく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24件	1件			いつも教室が見えると笑顔になる。 毎回楽しく通えているので安心している。	引き続き子どもたちが安心して楽しめる環境であり続ける為に職員全員でスキルアップや意見交換を行っていく。
	23	事業所の支援に満足しているか	25件				家や他の事業所では出来ない関りをしてくれるので有難い。 大変満足している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令6年 3月 20日

事業所名 てらびあぼけっと 神戸元町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件		比較的発達水準の高い利用者や周りを気にすることなく集中出来る利用者を大部屋で対応している。	少しでも広々と使用できるように玩具棚等の配置を考え、大部屋でも集中して療育に取り組めるように配慮する。
	2 職員の配置数は適切であるか	6件		配置は適切だが、個別療育の為、利用人数が職員数を上回らないようにしている。	フィードバックの時間調整や、保護者の送迎時間の見直しを行い、常に子どもを見守る職員数に気を付ける。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件		構造的問題に対しては職員が補助する体制を整えている。	限られたスペースの中で、安全かつ、快適に過ごしてもらえるように、気づいた時にはすぐ周知し、解決方法を検討して改善していく意識を持っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件		こまめに換気をする。常に整理整頓し、ロッカーは子どもたちが出し入れしやすい高さがあり、おもちゃも確認しやすく設置している。	窓が少ないため、引き続き安全に留意しながらこまめな換気をし、空気清浄機や加湿器を使用する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6件		毎日の朝礼、終礼に加え、毎月末にミーティングを行い、PDCAを行っている。	ミーティング時に忘れず議題にあげられるように、各自が思いついたときにすぐ記録する為に用意している共用ファイルを今後も活用していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件		保護者からの評価を元に、職員全員で検討会議を行い、改善に向けて取り組んでいる。	評価表の結果だけでなく、普段からご意見を頂いたときは、業務改善できるよう全員で取り組む。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件		毎年ホームページに結果を掲載しているが、その旨を事前におたよりで保護者に到達している。保護者が一番目にしやすい入口横に掲示している。	公開について、分かりづらい面もあるので、詳しく説明すると共に、ホームページの照会のお知らせも再度行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件		SVシステムの利用 保護者による評価実施	管理者を中心に良い業務を行えるように環境を整える。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件		事業所内研修の他に、行政等が行っている外部研修には積極的に参加している希望者が参加出来るように時間の確保が出来るように他職員も協力している	研修に参加するだけでなく、参加した者の伝達講習も積極的にやっていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件		保護者に支援計画の目標についての意見や感想を事前に用紙に記入してもらい、それをふまえてアセスメントを行っている。契約時にアセスメントに協力してほしい旨を説明している。	アセスメント後のカンファレンスでは、全ての職員がもっと積極的に意見を交換出来るようにしていく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件		事業所本部のアセスメントシートを使用し、定期的に児童の進捗状況を確認している	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件		FBで保護者支援に努めているが、それでも心配なご家庭に対しては家族支援を行い、一緒に療育にあたっている。	FB時の聞き取り内容を今後も職員内で共有し提示後に課題が見られたことに対し、即座に支援内容を追加していきたい。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件		カンファレンスを行い、個々に合った支援が出来るように内容の周知を行っている。プログラム作成時に必ず確認している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6件		児発管を中心に課題を引き継ぎ、共有し立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件		複数療育や季節に合ったイベントを行っているデータを毎プログラムで取ることでステップアップしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件		保護者からの依頼や、就学に向けて必要性を感じた時に、個別と集団の療育を適宜組み合わせている	集団でのSST課題にも積極的に取り組んでいく為に研修等でのスキルアップを図る
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件		毎朝、朝礼を行い、担当職員の確認及び、児童に対する連絡事項を行っている	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件		毎日終礼を実施し、個別にその日の支援内容や様子を報告し共有している他職員のアドバイスや考察を取り入れて次に繋げている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件		毎日1人ひとりのデータを必ず取って記録し、いつでも振り返る事が出来る状態にしている	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件		3か月毎に職員全員で見直し、必要に応じて児発管が修正を行っている		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6件		管理者、及び児発管が参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6件		関係機関へ実際に赴き面会をしたり、電話で共有事項を話し合うなど、必要な時には連携出来る関係作りを行っている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6件		現在、該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6件		現在、該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件		必要な場合や保護者からの要望で園を訪問し子どもの様子を伺い、園と共通した支援を提案するなどしている。その後も電話で近況報告をして情報を共有している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件		支援学校へ見学に行き、直接話を聞いてそこで得た情報を保護者に伝えている。各学校長宛に、保護者の希望に沿った就学支援シートを作成している。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6件		研修実施の通達がある時にはなるべく参加している 家庭センターや発達支援事業所を訪れて、話し合いの場を持っている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		6件		現状では交流を持つ事が難しいので、その旨を保護者に伝えておく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6件		該当区の自立支援協議会へ毎回参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件		利用毎にFBを行い家庭や園での様子、相談や困り事などを伺い、その日の終礼時に周知している。また、急ぎの場合は管理者や児発管に即知らせしている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	6件		問題点の具体的な対処方法や、現在の取り組みが就園、就学にどのように役立つかを伝えている。 家庭でも出来る支援方法をお伝えし、協力してもらうことも多々ある。	事業所で行っているホームエクササイズの周知、活用。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件		見学時、契約時、内容の変更時に分かりやすく説明し、今後不明な点があればいつでも質問してほしいと伝えている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件		支援計画の提示時に具体的な事例をあげながら説明している。	ガイドラインを理解してもらい易いように、ガイドラインの一覧表を作成して、照らし合わせながら説明していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件		常に様子を伺い、気になることがあれば声をかけるようにしている すぐに答えるものはその場で対応し、別途時間を設けた方がよい場合は、面談を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6件		今後、保護者の意見を取り入れながら、必要に応じてアイドルタイムに保護者会等を検討していく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件		相談を受けた際はその場で対応し、すぐに対応できない(時間を必要とする)場合は、面談を行うなどしている 電話やLINEでも随時対応している	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件		月1のおたよりの発行に合わせて必要なお知らせは書面にして保護者に伝えている。 Instagramやブログでの更新で、保護者が気軽に活動内容の様子を見ることができるようになっている		
38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件		書庫のカギ管理等、全員が意識をもって取り扱っている。	職員の意識を更に高める為、個人情報保護法の研修を入社時以外にも随時行っていく。	
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件		個別の対応方法を全職員で検討して実施している。		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6件			今のところ地域住民との関わりを持つ機会がない為難しい	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件		保護者の目に留まりやすいよう入口に緊急時のマニュアルを掲示している。職員は消防研修への参加や想定訓練の実施などしている。	見出しを大きめに添付するなど、提示していることをわかりやすくする。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件		直接避難場所へ行き、どのくらい時間を要するのか、気を付ける場所等の確認をしている。防災リュックの点検も定期的に行う。	子ども参加の訓練を増やしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6件		てんかん発作のある児童に対して保護者からの説明を受け、実施してほしい内容を書面にして職員間で共有し、もしもの場合にすぐ対応出来るようしている。製薬会社の説明動画で使用方法を確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		6件		当事業所で食事の提供はしていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件		終礼時に毎回必ず『本日のヒヤリハット』として報告し共有し、対策を検討している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件		毎年1回必ず職員全員が参加し実施している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		6件		現在は該当児童はいないが、こういった手順で行うかについては職員全員が周知し、今後必要になった時に対応できるようにしている